

本検討会での検討内容について（全体像）

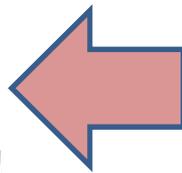
検討の目的

Target1

今後必要な光化学オキシダント対策等を検討する。

Target2

環境改善効果を適切に示す指標について検討する。



光化学オキシダントの環境中濃度は芳しくなく、改善が必要な水準にある。一方で、光化学オキシダントの発生機構や発生源寄与の解明等は不十分であり、環境改善に向けて必要な調査研究を進める必要がある。

【今後の調査研究のあり方(全体像)】

モニタリングの充実
データの多角的解析
排出インベントリ等の整備
シミュレーションモデルの高度化

平成24年度の検討内容

検討目標

「今後必要な光化学オキシダント対策等の検討」や「環境改善効果を適切に示す指標の検討」に資するデータの多角的解析を行い、光化学オキシダントの現象解明を進めるとともに、これらの検討に役立つ指標を明らかにする。

検討内容

データの多角的解析

「今後必要な光化学オキシダント対策等の検討」や「環境改善効果を適切に示す指標の検討」を目的としたデータ解析を行い、光化学オキシダントの現象解明を進める。

評価指標の検討

データの多角的解析の結果から、上記検討に役立つ指標を明らかにする。

発生源情報収集

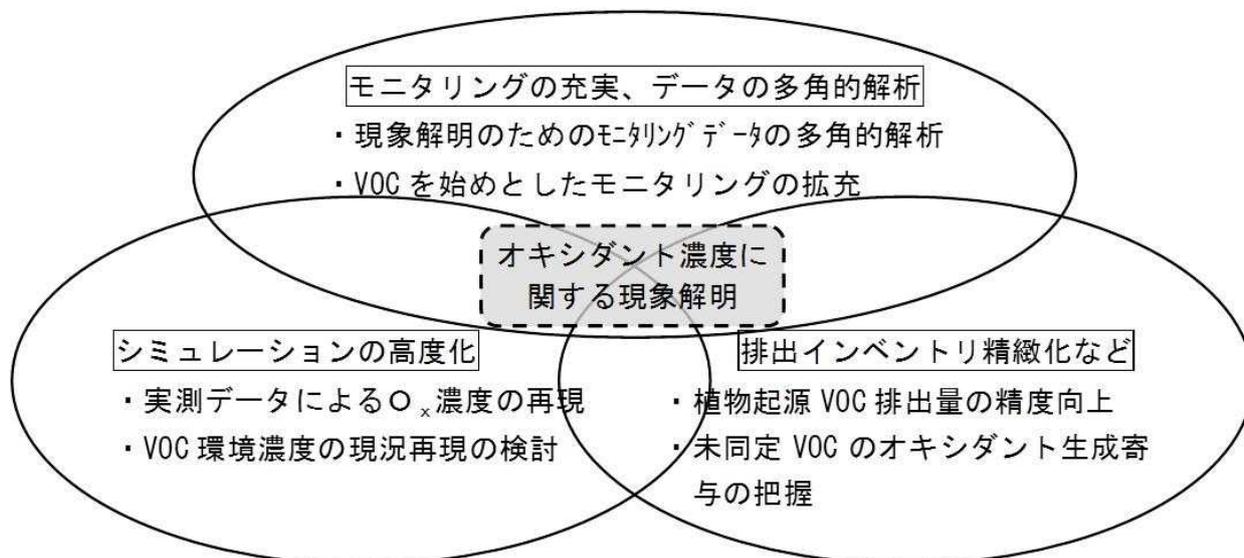
別途実施する植物起源VOC環境調査の結果について意見を聴取する。

検討会の開催予定

今年度は本日も含めて3～4回開催予定

「光化学オキシダント調査検討会」報告書(H24.3)

今後の調査研究のあり方(全体像)



今後の光化学オキシダント対策の評価手法

